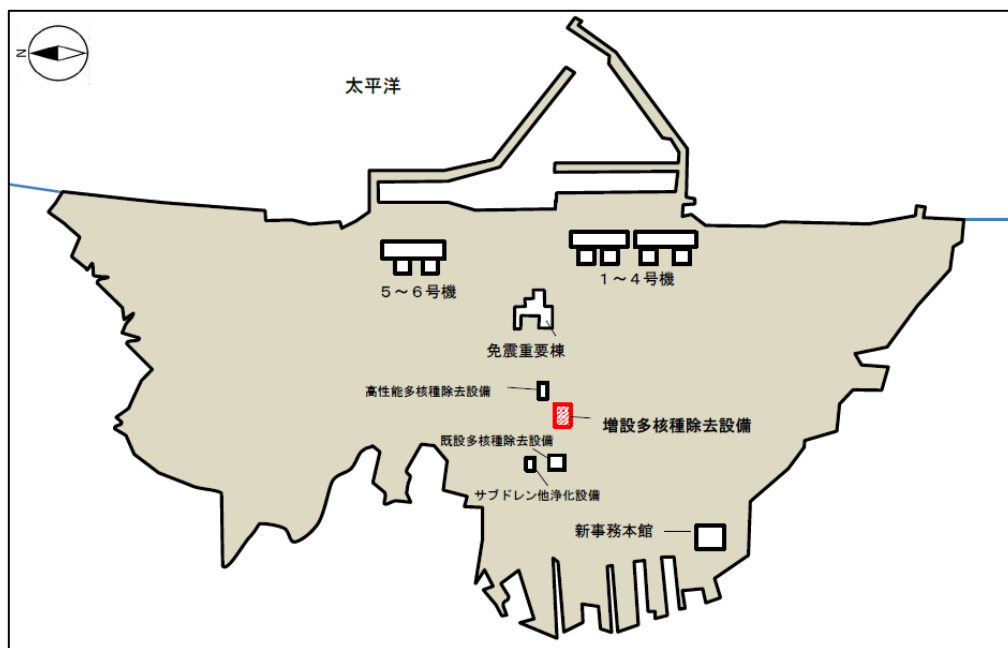


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和3年1月25日（月）
- 2 確認箇所  
増設多核種除去設備
- 3 確認項目  
増設多核種除去設備（B）クロスフローフィルタろ過水白濁の原因調査の状況
- 4 確認結果の概要  
前回（令和2年12月14日）に引き続き、増設多核種除去設備（B）のクロスフローフィルタ（以下、「CFF」という。）通過直後のろ過水に薄い白濁が確認された事象に関する原因調査の状況を確認した。
  - ・増設多核種除去設備（B）CFFスキッド近傍には、新たにCFF部材解体用のハウスが設置されていた。（写真1）
  - ・現場確認時には作業は実施されていなかったが、増設多核種除去設備（B）CFFスキッドにはCFFを取り出すための足場が組まれており、各種資機材が仮置きされていた。（写真2）
  - ・東京電力によると、白濁が発生した原因はCFF内部のパッキンの劣化により炭酸塩スラリーが流出したものと推定しており、CFF内部の確認を行っているとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
C F F 部材解体用ハウスの設置状況



(写真2-1)  
増設多核種除去設備 (B) C F F スキッド外観の状況



(写真2-2)  
資機材の仮置き状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。